



## 第3回 いきいきセミナー 哲学カフェ

1月21日三原市民福祉会館において、第3回いきいきセミナーが開催されました。哲学者でありカフェフィロ副代表の松川 絵里さんの進行で、哲学カフェが行われました。with YOU編集委員3人も参加し、とても楽しい1日を過ごすことができました。

### 哲学カフェとは？

哲学カフェは、1992年にパリで生まれました。1999年から日本でも始まったといわれており、全国各地で開催されています。年齢、性別、職業、経験、社会的立場などの違いを越えて、対等にテーマに沿って議論を楽しむ、それが哲学カフェです。「目的は、対話そのものを楽しむこと！結論を出さず、飲み物を飲みながら話し合い考える。私って、こんな風に考えているんだな、と気付くことが、哲学カフェの楽しいところです」と、松川先生はおっしゃいます。

### 松川絵里さんのプロフィール

平成17年  
大阪大学臨床哲学研究室の仲間と哲学的対話をサポートする団体「カフェフィロ」を発足  
平成26年～平成28年3月  
カフェフィロ 代表  
平成28年4月～  
カフェフィロ 副代表  
編書「哲学カフェのつくりかた」

## 男らしさ、女らしさって必要？

今回の題目は「男らしさ、女らしさって必要？」というもので、多くの意見が飛び交い、大変白熱したものとなりました。

「小さい頃から、男らしさ、女らしさを大事にしてきた」「男らしい、女らしいという言葉で縛られたくない、自分らしさを大事にしていきたい」「人間は、女性らしさと男性らしさのどちらも自分の中に持っているのではないか、その両方を大事にしていきたい」という意見が出されました。思った事を発言する方もいれば、じっと回りの意見を聴いてうなずく方や、先程の方の意見にもの申す！という方もおり、まさに会場はいきいきとした場となりました。



with YOU  
編集委員感想

心も体も会場も、ホットになった「哲学カフェ」体験でした♪ (中村)

年齢も職業も何も関係なく、一つのテーマについて話し合いをするという体験は初めてでした。結論は出しませんが、自分の中で思っていたことが明確になっていき、考えが変化していきました。「哲学カフェ」なかなかおもしろいです。(中尾)

今回のいきいきセミナーでは、老若男女あらゆる立場の方々が参加されていました。

哲学カフェのルール上、自己紹介なく始められ、最初はおそろおそろ意見を発言していた参加者が、他の人の発言に耳を傾け、考えを伝えるように変化していく様子は、とても心地良いものでした。皆様もぜひ、こういった機会があれば、参加してみたいはいかがでしょうか。(井手上)

## 三原市男女共同参画社会づくり表彰式・みんなの男女共同参画講演会のご案内

(13:30~)

(13:50~)

**日時** 平成29年3月25日(土) 13:30~15:20  
**場所** 三原市民福祉会館 大会議室  
(三原市城町一丁目18番1号 JR三原駅から徒歩5分)  
**定員** 150名 入場無料 ※申し込み不要  
**講演会** 「心が折れない生き方、  
優しさと強さを取り戻す方法」  
～在宅ホスピス医からのメッセージ～  
**講師** ふじ内科クリニック院長 内藤 izabeth さん

### ～プロフィール～

昭和31年生まれ。/山梨県出身。  
福島県立医大卒業。  
昭和61年からイギリスのホスピスで研修を受ける。  
平成7年に、ふじ内科クリニック開業。  
NPO日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。  
内閣府 はばたく女性人材バンクメンバー登録。  
著書に、「最高に幸せな生き方と死の迎え方」、「いのちの不思議な物語」、「いい医者 いい患者 いい老後」(永六輔さんと共著)など



# みはらウィメンズネットワークの活動のご紹介



みはらウィメンズネットワークの活動の一つとして、乳がん検診を毎年11月頃に企画し、実施しています。応募を募り当選された方に無料で受診していただくものです。

より多くの市民の方に受診する機会を設けるため、赤い羽根共同募金の助成、その他市内事業所などの賛同を受けて、行っています。

今年度(平成28年度)は、11月27日(日)に三原市医師会病院で25人が受診されました。

## 「みはらウィメンズネットワーク」とは

三原地域の9つの女性団体で構成されており、男女共同参画社会の実現に向けて、定期的に理事会を行って各団体の連携を深めるとともに、講演会の企画、運営などを行っています。



## 乳がん検診のすすめ

乳がんは、女性のかかるがんの中で、近年増加傾向にあります。女性のがん全体を見ると、罹患率は第1位(2012年)、死亡数が多い部位では第5位(2014年)に入っています。

特に20代から40代の乳がん患者が増加傾向にあります。

20代から40代は、結婚、出産、育児に追われて、女性が自分の体にじっくり向き合う時間がなかなか取れない時期でもあります。

日々の自己検診に加え、年に1回は乳がん検診を受けて、早期発見、早期治療を心がけましょう！

## その他市が実施する健診について

市では、乳がん検診・子宮頸がん検診の自己負担は無料です。

今年度は、3月末まで受けることができます。直接医療機関へ予約し受診してください。

平成29年度に実施する健診については、広報5月号に掲載する予定です。

### 乳がん検診、その他の健診についての問い合わせ先

三原市保健福祉課 TEL 0848-67-6053



今月のキラリストさんは、  
いまづ あや  
今津 彩さんです。

今津さんには、小学生の時、  
もうまくしきそへんせいしょう  
「網膜色素変性症」を発症し、  
視覚障害があります。現在は、  
同じく視覚障害を持つメンバ  
ーと『ひまわりサロン』を運  
営しています。



ひまわりサロン いまづ あや  
今津 彩さん



ボランティアが文章を読んで録音したCDを長時  
間再生できるポータブルレコーダー ほか



毎月2回開催の定例会

## 障害からの転機

「網膜色素変性症」は、暗い所でものが見えにくくなる、視野が次第に狭くなる、視力が低下するなどの症状が特徴です。日本では数千人に1人の割合で発病しているとされ、症状や進行には個人差があります。

私は徐々に症状が進行していき、引きこもりがちになっていきました。そんな時、私の病気に詳しい医師がいると聞き、遠方へ尋ねました。

当時、23歳だった私は、病気を治すことしか考えていなかったのですが、その先生は、「同じ病気の人で結婚して子どもを何人も産んでいる人を知っているよ。現状の中でどうやって未来を切り拓いていくかが大事だ。」と教えてくれました。

これが転機となって、気持ちが吹っ切れ、身体障害者手帳を取得し、社会に出て働くようになりました。

そして現在は、仕事をしながら、夫と子ども2人とともに生活しています。

## 『ひまわりサロン』の誕生

平成20年、三原市社会福祉協議会が主催していた「ピアカウンセリング講座」の受講者たちの要望で、『ひまわりサロン』を発足しました。「ピアカウンセリング」とは、同じような障害を持つ者同士が、各々の困りごとや目標を出し合い、解決法を考える会です。

現在、『ひまわりサロン』は、毎月2回、サン・シープラザ内のドリームキャッチャーで定例会を行なっています。会員5名（男性3名、女性2名）で、40代～60代のメンバーがいます。主な活動内容は、情報交換、福祉機器の体験、講座の企画、相談や茶話です。

## 「人材育成セミナー」受講で意識が変わった！

昨年、一昨年と市主催の「人材育成セミナー」を受講しました。参加者の皆さんがそれぞれ、三原をより魅力的にするための意見を活発に出されていて、私はただただ圧倒されっぱなしでした。

防災セミナーでは、携帯品についての具体的な知識を学び、『ひまわりサロン』で提案できました。また、まちづくりのワークでは、「グループで役割を決めると責任感が生まれて張り合いになる」と、分かりました。人と比べるのではなく、「自分が出来ることをする！自分でいいんだ」という気持ちになりました。

「男女共同参画」について、皆さんの意見を聞いていて、「男の人はこうじゃなきゃ、女の人の役割はこうと、今まで当たり前を考えていたけど、そういうことでもないんだ。縛られていたら、しんどいよね。自分の障害に縛られていたら、しんどいよね。」

また、「今までのカタチにとらわれない考え方が、暮らしや人をもっと豊かにしてくれる部分もあるんじゃないかな。」そう感じました。

## これからの『ひまわりサロン』

『ひまわりサロン』の活動を通じて、私も含め、メンバーそれぞれが地域で自立生活を継続できるよう、暮らしに役立つ講座、余暇活動の企画をもっと実現したい。また、より多くの人と情報や思いを共有していきたいです。

そのためには、待っているのではなく、自分たちが考えて積極的に行動し、多くの人に興味を持ってもらうことが大事だと、チラシ配りなど出来ることを始めました。知ってもらえることが楽しいと思っています。